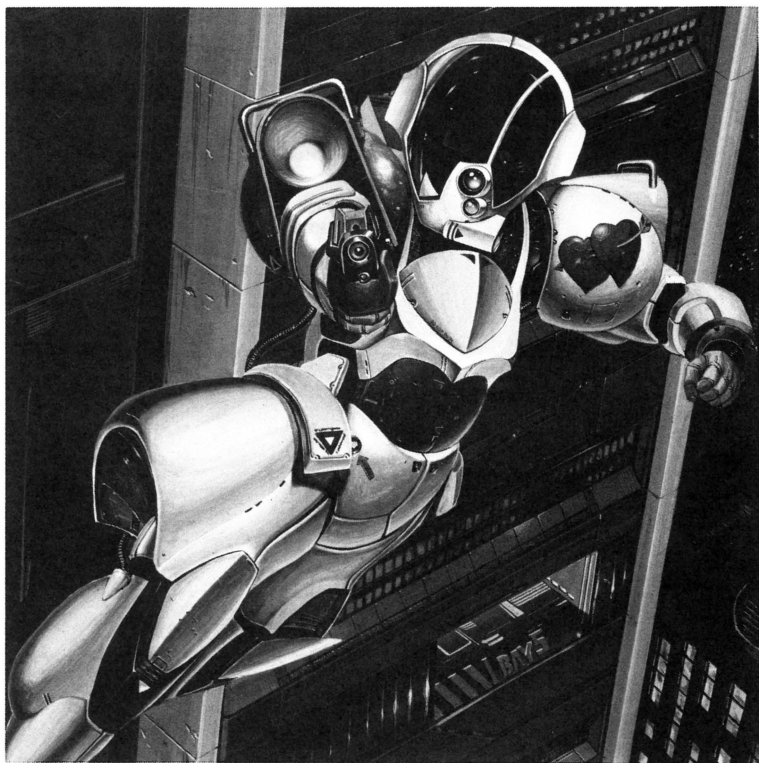




ブレイクブレイカー



作者紹介



石川 博

18才。愛知県在住。パソコン歴5年。オリジナル作品には「限りなき戦い」がある。

今までの知識を集大成して作ったゲームです。内容には自信があります。是非、お楽しみ下さい。

ローディング方法

《ディスク版をお使いの場合》

- (1) X I 本体にディスプレイ、ディスクユニットが正しく接続されているか確認し、ディスプレイ、ディスクユニット、本体の順に電源スイッチを入れて下さい。
- (2) プログラムディスクをドライブ 0 に、セットリセットボタンを押して下さい。
- (3) しばらくすると、ゲームがはじまります。

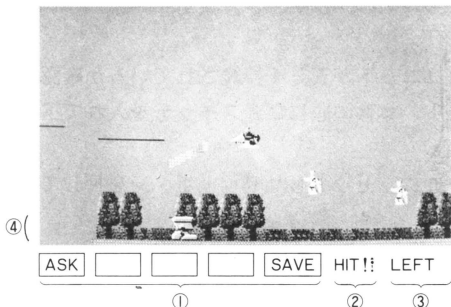
《テープ版をお使いの場合》

- ① X I 本体にディスプレイが接続されているかを確認し、ディスプレイと本体の電源を入れて下さい。
- ② 本体前面のEJECTボタンを押し、カセットのふたを開け、プログラムテープをセットします。
- ③ しばらくすると画面に「IPL is loding BRAIN BREAKER」と出て、数分でローディングが終了し、ゲームが始まります。

(注)・X I はグラフィックRAM、X I D はリモート端子付データレコーダがそれぞれ必要です。
・X I D をお使いの方でうまくロードしない場合は「取扱い説明書」の「4.4外部カセットレコーダの接続方法」のC・4項をお読み下さい。

・BASICがROMで内蔵されている場合は、**Ⓒ**キーを押しながら電源を投入して下さい。
・X I ターボをお使いの場合、電源投入以前に本体のモードをSTANDERD(200ライン)に切りかえてお使い下さい。

画面の説明



①機能表示。(ファンクションキー)

ASK が表示されているときは、船その他との通信可能状態になっている。(F1)

SAVE が表示されているときはメモリにSAVE可能状態になっている。(F5)

ほかはいろいろなものをとると、使用できる武器等が表示される。

②敵を倒すと、!が増え、10本になると人数が1人増える。

③プレイヤーの残りの人数。

④メッセージ表示。

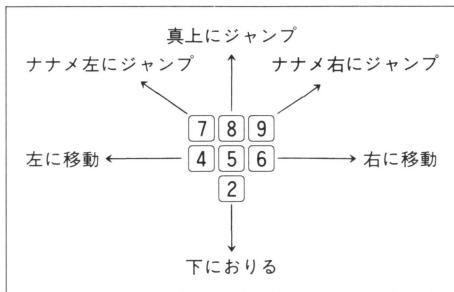
母船からのメッセージ。

敵からのメッセージ。

注) 一旦、電源を消されますと、セーブした所もすべて消えます。

キー操作

ESC 中段および再開



①何も持っていないとき、スペースキーを押すと、現在向いている方向で跳りの状態になる。

②レーザーガンをとると、スペースキーでレーザーガンが使用できる。

③ものによっては、**X**キーでフォーミングミサイルが使える。

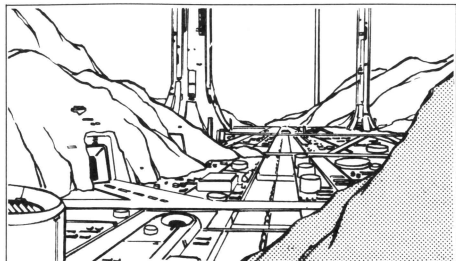
その他、もちものによってキー操作が多少変わる。

④**Z**キーは物をとるときに使う。

注) キー操作がスムーズに行かない時には、テンキーから一旦、指を離すようにしてキーを操作して下さい。

※穴からの脱出は**7**と**9**のキーでジャンプして下さい。

女性シーカー『サヤカ』の時代背景



植民地世界

2000光年離れたXプラネット。

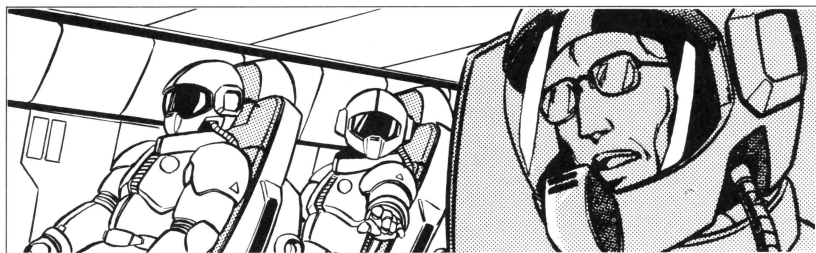
イオネア戦争勃発。

工学技術では最高級の施設を保有していたが
大打撃を受ける。

地球

今より120年前、人類は宇宙に居住地を求めて拡散し
その行動範囲は全くつかめない状態になっていた。

レヴェロフ戦争を過て恒
久平和



西暦2600年、主人公・サヤカの生まれ時、地球では宝探し（シーキング）が大流行していた。

ある男が地球より400光年離れた惑星上で反物質製造機を発見し、大富豪となったのである。人々はそれにあやかろうと、数多くの恒星間宇宙船を地球より遙かに進んだ工学技術を求めて飛びたせていた。

出発までのプロローグ

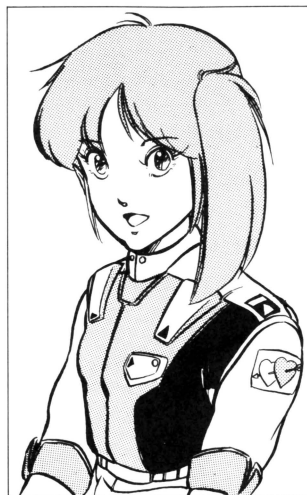


◀ジーラ(25才)

シーキングコンサルタントのそんな言葉にのせられて、シーカーになる決心をしたサヤカは、1年間の訓練を受けて宇宙へ出たのだった。

それから2年、サヤカは焦り始めていた。「ツェッペリン号」を買うために、政府より借りた100万クレジットは、1日に数1000クレジットの利子を生んでいるのだ。

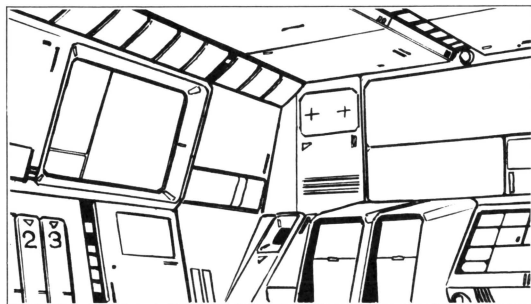
早く誰もまだ知らない星で、高度の工学技術を探さなくては……。



▲サヤカ(20才)



—その都市はこの惑星唯一の大陸の南端に位置していた—



「人間がないのは明らかです。電波帯域での放射が全くありません。対消滅炉らしいニュートリノ源が3ヶ所ありますが、どれも臨界すれの出力しか出していないです。どういことでしょうか」とシュ

ドルフ。シュドルフは母船（ツェッペリン号）のメインコンピュータだ。

「すぐ分るわ」とサヤカは、神経質になっている。大気圏突入はあいも変わらず空気との摩擦によって減速しているのだ。

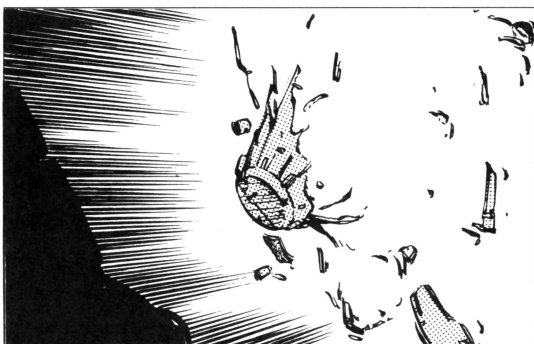
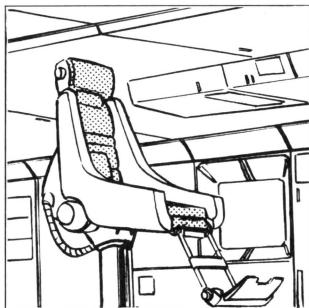
「頑張ってよノ猫ちゃん」とサヤカ。

目の前のランプが、キラリとまたたく。「チェシャ猫号」は超耐熱金属を赤く光らせて大気圏に突入した。

“チェシャ猫”と名付けられた自動操縦装置（オートパイロット）はシュドルフの誘導に従って着陸船を最適進入コースに乗せた。

大気圏突入後、30秒を経過した時、機体下部の安定装置が瞬時に蒸発した。さすがの超耐熱金属も、大エネルギーのX線レーザーには数ミリ秒しか耐えられない。

しかし、その気化熱のおかげで船殻は持ちこたえる。



“チェシャ猫”は危険を察知、下部耐熱タンク4つを切り離す。タンクは一瞬後に爆発。

サヤカは衝撃で気を失う。

彼女の前のランプは全て赤く点滅する。

「こちらはツェッペリン。大丈夫ですか？」シ

ュドリユの落ちついた声に彼女は目を覚ます。

「大丈夫じゃないわよノこの惑星は死んでいるって言ったのは誰よっ!!」

「あの都市が活動を開始しました。2ヶ所からX線レーザーが発射されました。また、私の方へも月面から反陽子ビーム攻撃を受けました。そちらは破壊しましたが、あなたの敵の方はあなたに近過ぎるので攻撃できませんでした」

着陸船（ランダー）はサヤカだけを射出するとすぐに爆発してしまった。とんだ欠陥商品だったが、サヤカはそれどころではない。

「防空システムを見つけ出して破壊するしかありません」

「どうしてよ！早くもう1つのランダーを降ろしてよ！」

「そして、“チェシャ猫号”と同じ目に合わせるのですか。ランダーはあと1つしかないのです」

サヤカは改めてすわり込むと、空を見上げた。雲一つない空に、2つある月の1つが出ている。その上半分は、APB攻撃を受けてまだ光っている。

振り返ると、そこにはあの都市があった……。

ゲームをする前に

これは単なるアクションゲームではない。

女性シーカー「サヤカ」は、不注意にもあるプラネットから攻撃を受け不時着してしまった。

母船に帰りたくとも、このプラネットの防衛網にじゃまされ、着陸船（ライダー）が進入できない。

敵防衛システムの心臓部を探し出し、破壊しなくてはならないのである。

一見、何でもなような都市だが、敵の進入に対しては防衛力は強くなっている。何から手をつけて行くか、それがこのゲームのおもしろさなのである。

母船からのメッセージを利用し、都市内を探しまわり、何かしら手がかりを見つける事により、きっと新しい展開がある。

もともと一獲千金を考えていた「サヤカ」ではあったが、こんな事になるとは夢にも思っていなかったはずである。「話が違うじゃない」と怒っても、もうどうしようもない

ここまできたら、防衛システムを探して破壊しなくてはならないのだ。

時間をかけてゆっくりこのゲームに熱中してもらいたい。サヤカを脱出させるためにも!!

ヒント券

当社では、アドベンチャーゲームの性質上出来るだけお客様にご自分でゲームを進めていただくという方針ではございますが、どうしても先に進めなくなられたお客様のために、このヒント券を用意いたしました。

どうしても先に進めなくなられた場合には、返信用封筒に60円切手をはり、ヒント券1枚を同封の上、お知りになりたい箇所およびわかっていることを詳しく書かれ、当社宛にお送り下さい。

ただし、ご質問はヒント券の枚数分に限らせていただきます。

(注)ヒント券には、必ずお持ちの機種名をご記入の上、ご購入いただきましたメディア（テープまたはディスクのいずれか）を丸でかこんでお送り下さい。

▼ 返信用封筒の書き方

60	□□□-□□
あなたの住所	
あなたの氏名	
(様もつける)	

サヤカヒント券

No.1

機種名

テープ・ディスク

サヤカヒント券

No.2

機種名

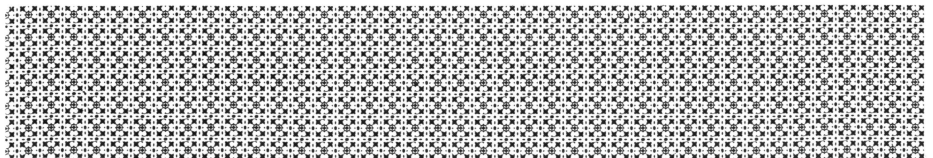
テープ・ディスク

サヤカヒント券

No.3

機種名

テープ・ディスク



お問い合わせについて

私共では、万全の体制で商品開発を行なっておりますが、御意見・御要望につきましても同封のアンケートカードにてお送り下さい。

ご購入いただきましたディスクット又はカセットテープ内のデーターを何らかの理由により破損された場合には、破損したディスクット又はカセットテープに交換実費1000円(1000円分の切手でも可)を同封の上、直接当社までお送り下さい。特別な場合を除いて、お電話によるお問い合わせはお断わり致しております。

今後共、皆様の立場に立った、より良いゲームソフト作りを目指してゆきますのでよろしくお願い申し上げます。



E-G158
E-G159

株式会社 エニックス

〒160 東京都新宿区西新宿7丁目1番8号 ヒノデビル3F

TEL.03(366)4345